

磐城時報

日四廿夕
平沼町長は既報の如く二十二日で平沼の意を述べ設置方を陳情
上京 磐城紡績工場の設置方につしたが、同會社の話によれば
いて同會社を訪ひ重役に面會し社長は福島縣下に一工場を増設
植田町外九ヶ村聯合青年体育大

三万圓を投じて 平小鐵道の實測

内田鐵相が言明

青沼平町長は小野小名濱町長と會を開き来るべき今期通常縣會
上京金成貴族院議員、鈴木代議の對策を講ずる。

籠球大會

平校優勝

郡下兒童籠球大會は二十三日平
第一、第二兩校で舉行したが成
績は左の如くであつた。

- 第一 高等科男優勝 平第一
- 第二 高等科女同 平第二
- 第三 尋常科男同 平第三
- 第四 尋常科女同 平第二

民政黨で 縣會對策

石城民政部會では二十五日午後
一時から平町民政俱樂部に幹部
十組を出ない場合は中止する

鐘紡促進委員會で 具体的調査開始

青沼町長會社を訪ひ 新工場の條件を確む

青沼町長は既報の如く二十二日
上京 磐城紡績工場の設置方につしたが、同會社の話によれば
いて同會社を訪ひ重役に面會し社長は福島縣下に一工場を増設
植田町外九ヶ村聯合青年体育大

平青年團の 漫談と映畫會

平青年團の資金造成の「漫談と
映畫」會は二十四日午後六時
から平町警察署に開催、映畫は
「護れ大空」外敷巻、漫談は徳川
夢聲氏出演する。

農産物品評會

一萬五千石を使用するといふ事
が判つたので青沼町長は二十四
日鐘紡設置委員會に報告しこの
物品評會は二十三日から三日間
條件を基礎として調査をすゝめ
入遠野校に開催中であるが、出
正式に鐘紡會社に設置の運動を
品六百七十七点である。

凶作地に寄附

夏井川匡救事業の一人 貴い貧者の一燈

神谷村役場に數日前一人の青年會は二十三日午前十時から植田
が來り七圓五十錢を出して凶作
地に送つて呉れと頼んだので更
員が姓名を聞いた處何としても
明かさなかつたが、その後調査
した處神谷村大字鎌田字石名坂
農荒川忠明(二〇)と言ひ家が貧
しいので目下夏井川匡救工事で
働いてゐるが、毎日の賃銀中か
ら五錢十錢と貯え寄附を申出た
ものと判明した。

炭礦主を装ふ詐欺漢

實は前科三犯の曲物

宮城縣伊具郡角田町生れ前科三
犯大田木(四五)は勞農大衆黨員
或ひは大金持と法螺を吹き廻し
詐欺を働いてゐるが、去る九月
二日知り合ひである湯本町三
同町料理葉家金成セン方で密泊
り込み翌十五日宿料五圓五錢

勿來坑の雜夫が 會社重役を訴ふ

二千圓の損害金請求

勿來坑大字酒井元大日本炭礦
來坑雜夫新瀨縣中蒲原郡小須
町生れ鈴木技吉(四二)は去る九
月二十五日午後四時半頃坑内
作業中右指に負傷し不具となつ
たので平町門傳辯護士を代理人
とし大日本炭礦會社取締役古賀
春吉氏を相手取り二千二百圓
裁判所に提起した。

非常召集

四倉署で
四倉警察署では二十四日午前
一時管内巡査の非常召集をなし
捕賊演習を行つたが好成績を以
て午前六時終了した。演習の想
定は

三百圓を投じて 犯人識別機購入

東北六縣の警察署に魁けて 平署で備付く

平警察署では三百圓を投じて透視
鏡犯人識別器を購入備付ける事
になつた。この機械は犯人を識
別する場合證人がこの機械を透
視して犯人を見ると、犯人の姿
み見え証人の姿は犯人から見
える。

巡査と格闘

万引犯人

夏井村大字藤間農金吾長男坂
一次(二二)は二十三日午後十
頃平野前丸新デパート内小田
店で菓子、赤靴煙草入等を万引
して逃走したのを平署員が常盤
銀行前まで追跡して捕へた。

犬肉を賣る

大浦村上仁井田松原貞次郎(四
〇)は二十四日午前四時頃好間
大館阿部三郎から犬肉二頭分
を一圓五十錢で買ひ歸宅の途中
大浦村地内で捕はれたが之は販
賣する目的であつた事を自白し
て午前六時終了した。演習の想
定は

文書偽造公判

懲役一年半求刑

玉川村大字島鈴木一男(三六)に
かゝる私文書偽造行使詐欺の公
判は二十二日平區裁判所で開延
判は二十二年平區裁判所で開延
無罪を主張した。判決は來る三
十日言渡しの筈である。

陪審員抽籤

平町では
二十八日午前十時陪審員候補者
十三名を抽籤で決定する。

文書偽造公判

懲役一年半求刑

玉川村大字島鈴木一男(三六)に
かゝる私文書偽造行使詐欺の公
判は二十二日平區裁判所で開延
判は二十二年平區裁判所で開延
無罪を主張した。判決は來る三
十日言渡しの筈である。

於
全
國
清
酒
品
評
會

酒 銘
榮 川

優◎
等◎
賞◎
受◎
領◎

於	於
今年	過去五ヶ年
全	福島縣下
國	清酒品評會
	最優等賞
同	首席優等賞
同	優等賞
	領受

釀造元 會津若松 宮森榮四郎
特約店 平 町 永山酒店